

オンライン開催

Hill's BASIC SEMINAR

臨床栄養学の扉を開けよう!

ミッション① 救え! 肥満予備軍 ミッション② 守り抜け! 輝く白き秘宝
 ミッション③ 取り戻せ! お腹の平穩 ミッション④ 取り戻せ! 膀胱の平穩

ミッション③ **取り戻せ! お腹の平穩**

オンライン開催

Hill's BASIC SEMINAR 2026

臨床栄養学の扉を開けよう!

対象者
獣医師・動物看護スタッフ
動物病院勤務スタッフ

講師
ヒルズ獣医師

第1回 ミッション① 救え! 肥満予備軍 2026年4月20日(月) 13時より配信	第2回 ミッション② 守り抜け! 輝く白き秘宝 2026年7月27日(月) 13時より配信
第3回 ミッション③ 取り戻せ! お腹の平穩 2026年9月24日(木) 13時より配信	第4回 ミッション④ 取り戻せ! 膀胱の平穩 2026年12月7日(月) 13時より配信

視聴特典 全4回 参加いただいた方の中から抽選で

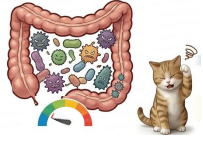
ミッションクリア! ヒルズオリジナルグッズプレゼント!

獣医師関係者向け複製・配布版

ミッション③ 目標

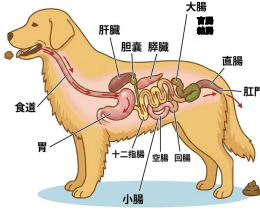
① 低脂肪食での管理が必要な疾患について理解しよう!

② お腹の不調とストレスの関係について理解しよう!

獣医師関係者向け複製・配布版

消化管の機能と排泄経路



胃: 酸と酵素を作り食べ物を部分的に消化する

肝臓: 脂肪の消化を助ける胆汁を分泌する

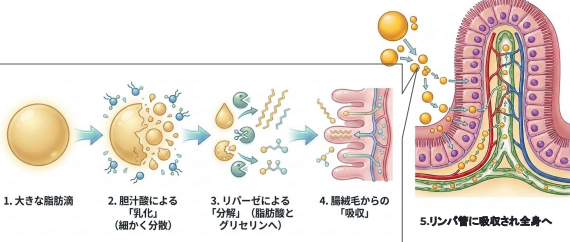
膵臓: たんぱく質、炭水化物、脂肪の消化を助ける酵素を分泌する

小腸: 酵素を分泌し、栄養素を吸収する

大腸: 水分を吸収し、固形の便をつくる

獣医師関係者向け複製・配布版

他の栄養素と違う脂肪の消化吸収



- 大きな脂肪滴
- 胆汁酸による「乳化」(細かく分散)
- リパーゼによる「分解」(脂肪酸とグリセリンへ)
- 腸絨毛からの「吸収」
- リンパ管に吸収され全身へ

獣医師関係者向け複製・配布版

低脂肪食が指示される消化器疾患

膵炎 	蛋白喪失性腸症 (リンパ管拡張あり)  腸水貯留	高脂血症 	その他 - 腺外分泌不全 - 糖尿病 (高血糖症や尿糖を併発) - クッシング症候群
--	--	--	---

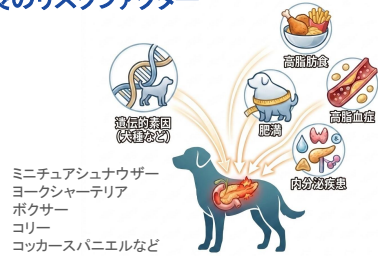
膵炎: 自己消化による炎症性疾患



膵液:
十二指腸でさまざまな栄養を分解したり、胃酸で酸性になった食べ物を中和する

膵炎の症状:
激しい腹痛、嘔吐、脱水、食欲不振を伴う

膵炎のリスクファクター



膵炎に必要な栄養管理(犬)

「絶食」から「早期給与」へ
嘔吐が治まったら早期に小腸を使用しバリア維持

早期
腸管栄養の再開

膵刺激の最小化
脂肪分を大幅に抑え、膵酵素の分泌過多を予防
肥満・高脂血症 <10% (DM)
正常体重 <15% (DM)

高品質なたんぱく質と高消化性
消化器への負担を軽減しスムーズな回復をサポート

低脂肪食が指示される消化器疾患

膵炎	蛋白喪失性腸症 (リンパ管拡張あり)	高脂血症	その他
			- 膵外分泌不全 - 糖尿病 (高脂血症や膵炎を併発) - クッシング症候群

蛋白喪失性腸症 (PLE) とは

血液中のたんぱく質が腸管内に過剰に漏れ出してしまふ状態



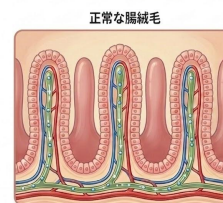
リンパ管拡張

PLEを引き起こす代表的な原因疾患(または状態)の1つ

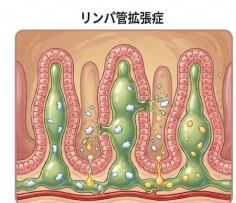
その他

慢性炎症性腸症 (CIE) /
食物アレルギー性腸炎、
消化管潰瘍、感染症、腫瘍など

リンパ管拡張症



正常な腸絨毛: 細いリンパ管が
栄養をスムーズに運ぶ



リンパ管拡張症: リンパ管が拡張・破綻。
アルブミン (タンパク質) や脂肪が腸管腔内へ漏出

リンパ管拡張を伴う PLE に必要な栄養管理

リンパ管拡張を伴う PLE

脂質の制限

十分量のたんぱく質: $\geq 25\%$ (DM)

慢性炎症性腸症や食物アレルギーが基礎疾患にある場合

z/d や d/d: 食物アレルギー対応のフードを試す

免疫反応を除去する事で基礎疾患がコントロールできる

蛋白喪失も減少する

低脂肪食が指示される消化器疾患

膵炎

蛋白喪失性腸症
(リンパ管拡張あり)

腹水貯留

高脂血症



その他

- 腎臓分過不全
- 糖尿病 (高脂血症や膵炎を併発)
- クッシング症候群

高脂血症とは



1 高脂血症の放置

自覚症状(痛みや不調)がないため、気づかずに放置されがち

2 脂質代謝の異常が進行

3 膵炎の発症リスク



高脂血症に必要な栄養管理

低脂肪食による血中脂質のコントロール

推奨組成
脂肪 $< 12\%$ (DM)

食事管理 フォローアップ

3~4週間後に再評価

10~12時間の絶食後採血、乳び血清の確認と生化学検査

目標

- 1) 血清が乳びでない
- 2) 総トリグリセリド 500 mg/dL 以下
(家族性であれば $1,000 \text{ mg/dL}$ が許容可能目標)
- 3) 臨床症状の改善

消化器疾患とストレスは密接に関連している



ストレスになりうるもの



環境変化(ペットホテル、引っ越し)

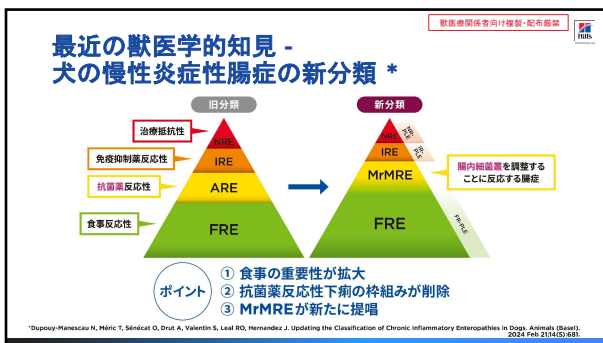
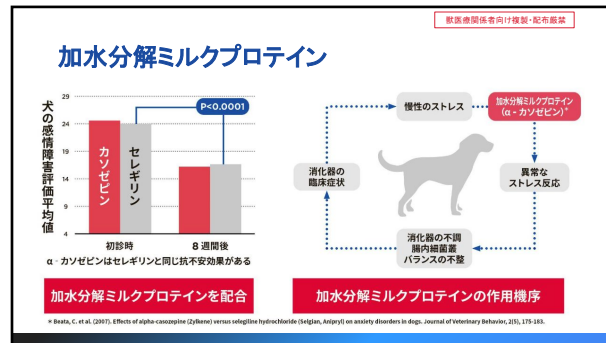
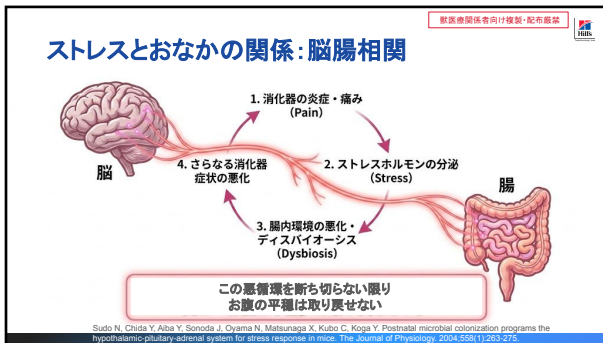


音響恐怖(雷、花火)



社会的ストレス(新入りペット、留守番)







獣医療関係者向け複製・配布厳禁

ストレス性の消化器疾患に (犬用) i/d コンフォート

- ▶ 加水分解ミルクプロテインを配合
- ▶ 低脂肪を必要とする消化器病に最適な療養食
- ▶ 小・中型犬 (14kg 以下) 向け

獣医療関係者向け複製・配布厳禁

製品ラインナップ(犬)

	小腸性下痢	大腸性下痢	低脂肪食で管理する疾患		食物有害反応
製品名	i/d	腸内バイオーム	i/d ローファット	i/d コンフォート	z/d
特長	高消化性	腸内環境をケアし、最短24時間で軟便を解消	低脂肪	低脂肪 加水分解ミルクプロテイン配合	加水分解たんぱく質を使用
消化率	高	中	高	高	中
高食物繊維		✓			
脂肪レベル	中	中	低	低	中
アクティブバイオーム® チタノロジー	✓	✓	✓	✓	✓
加水分解ミルクプロテイン (6-8kDa)に配合				✓	

獣医療関係者向け複製・配布厳禁

製品ラインナップ(猫)

	小腸性下痢	大腸性下痢	食物有害反応
製品名	i/d	腸内バイオーム コンフォート	z/d
特長	高消化性	腸内環境をケアし、最短24時間で軟便を解消	加水分解たんぱく質を使用
消化率	高	中	中
高食物繊維		✓	
脂肪レベル	中	中	中
アクティブバイオーム® チタノロジー	✓	✓	✓
加水分解ミルクプロテイン (6-8kDa)に配合		✓	

Hill's BASIC SEMINAR

臨床栄養学の扉を開けよう！ ミッション③クリア！

今日のキーワード **コンフォート**

次のミッションは **取り戻せ！ 膀胱の平穩**
12月7日(月)13:00～

Hill's BASIC SEMINAR

臨床栄養学の扉を開けよう！ ミッションクリア！

ミッション③ **取り戻せ！ お腹の平穩**